

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第95号 R5.6.26

## 小学生が見た自分たちの中学生像

～「東能勢フェスタ」(東能勢小中学校 中期・後期学部)より～

6月16日(金)に第11回「東能勢フェスタ」が東能勢小中学校の中学校校舎体育館で開催されました。今回の大きな特徴は、東能勢小中学校(前期学部)4年生が会場の最前列にて見学することができたことです。舞台上で精一杯パフォーマンスする上級生の姿をじっくり観ることができました。それほど、1番年齢の近い5年生から9年生(中学3年生)までの表現が観客を惹きつけるものであったということでしょう。特に9年生(中学3年生)は、中学校生活最後の舞台となることから、元気いっぱい会場を観客と一体となるような素晴らしいパフォーマンスを披露しました。さすがは、過去2回の経験を積んできた学年だと感じさせられました。



## ～「とよの未来科」の実践始まる～

東ときわ台小学校では、ヤーコンの栽培に向けて準備を始めています。吉川小学校でも、ヤーコンの栽培、そしてモリアオガエルの生態についての学習が始まっています。光風台小学校は、現在初谷川の散策を検討中です。東能勢小学校では、特定外来生物に指定されている植物「オオキンケイギク」の駆除作業に取り組みました。「とよの未来科」の実践が各校で進められています。



オオキンケイギク

「とよの未来科」とは、めざす子ども像「豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども」の実現に向け、「とよの」に学び、「とよの」を学ぶことを通して自分の生き方について考えたり、豊能町の未来について考えたりする教科横断的・総合的な学習です。豊能町でこれまでも大切にしてきた、地域学習・キャリア教育・人権学習を一体的にとらえたものです。(「豊能の風」第91号より)

## 小中連携を意識した授業づくり

昨年度、小中学校の教員が集まり、検討に検討を重ねながら小学校1年生から中学校3年生までを見通した「豊能町小中一貫教育カリキュラム」を作成しました。今年度は、そのカリキュラムをもとに全ての教科部会において授業実践を行っています。

そこで、6月16日(金)吉川中学校において「豊能町小中一貫教育推進研究会(まなび部会) 図工・美術部会」が開催されました。今回の部会では、1年1組のクラスで美術科の長木 功先生が授業を行いました。授業は、「定規とコンパスだけで色相環を作ろう～形の工夫と美しさ～」という単元でした。最初の20分間は、12色相環の形をどのようにして作成していくのかについて説明があり、その後制作にとりかかりました。途中、他の生徒の作品を自由に歩き回って見学する時間もあり、自分にはないアイデアなどを参考にすることができました。

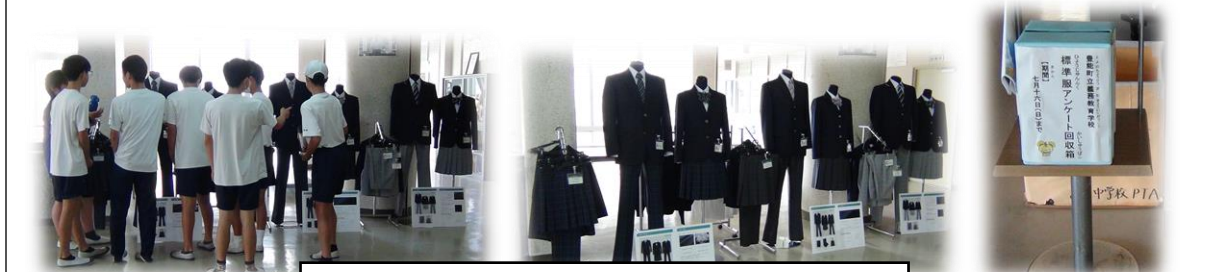
先生の「美術の世界では、他の人とは違うことが大事な要素の一つであり、周りの人と同じであることが正解とか良いことにはならないのです。どうやったらきれいに見えるか考えて、工夫してみてください。」の一言に、小学校図画工作における学習経験と、そこで培われた豊かな感性や、表現及び鑑賞に関する資質・能力の伸長を培うための授業づくりを意識されていることが表れていました。



## 新標準服のサンプル 展示開始

「豊能の風 第94号」でお知らせしました義務教育学校の新標準服のサンプル3案の展示が、6月6日(火)より始まりました。児童生徒のみならず、教職員のみならず展示サンプルを近くで見ながら、「こっこのほうがいいかな」などと感想を述べ合う様子が見られました。アンケートの投票は7月16日(日)16時までとなっております。サンプルの展示期間・会場など詳細は、下記URLをご覧ください。

URL[[https://www.town.toyono.osaka.jp/data/doc/1686443310\\_doc\\_100\\_0.pdf](https://www.town.toyono.osaka.jp/data/doc/1686443310_doc_100_0.pdf)]



吉川中学校 新標準服サンプル展示の様子